

内部質保証システムの有効性を 高めるために

—連携、可視化、情報共有、情報公開—

高等教育における内部質保証重視の流れ

- スペリングス・レポート
 - 透明性と説明責任 (transparency and accountability)
- 欧州高等教育圏(EHEA)における質保証のための基準と指針 (ESG2015)
 - 説明責任(accountability)と質の向上(enhancement)
 - II. 高等教育の質保証に関する欧州の基準とガイドライン
第1部: 内部質保証に関する基準とガイドライン
- 中央教育審議会答申

など

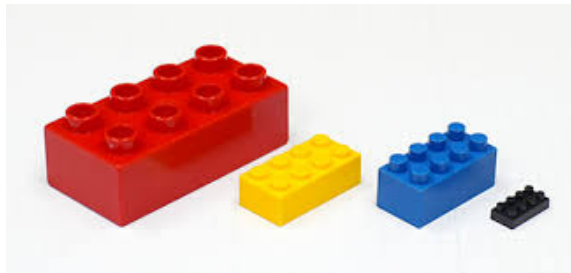
課題

- 部局(学部・研究科)の教育研究の質を保証する有効な内部質保証システムとはどのようなものか. どのようにして機能させるか
- 内部質保証全体に責任を追う組織が、内部質保証システムを構築し、機能させていく上で、各部局に対してどのように働きかけていくか
- 有効な全学内部質保証システムをどう構築していくか

内部質保証活動の単位

- 活動内容
 - 教育、研究、管理運営、社会貢献
- 組織
 - 全学
 - 学部、学科
 - 係、課、部、局

- 個々の単位での活動は日常的に点検・評価を含んで実施されている。
- 個々の活動をブロック(例えばレゴ)とすると、



個々の活動



個々の活動を組み上げると素晴らしい建物にもなり得る

しかし、個々のブロック同士の関係は、単に組み合わせられているだけ？

組み上げた「大学」をどう動かすのか

- 教育版レゴ® マインドストーム® EV3
 - パーツ(センサー、レゴブロック、ギア、車軸、ビーム、タイヤなど)をつなげてロボットを組み立てる
 - 組み立てたロボットをプログラムで動かせる
 - プログラムは自作出来る



適切に動かすためのポイント (内部質保証システム)

- センサー、レゴブロック、ギア、車軸、
ビーム、タイヤが互いに
 - つながっている(導線、配線)
 - 連絡できる
 - 現在どのような状態かを把握できる
- プログラムは自作出来る
 - 大学の自律性に基づく内部質保証プログラムの構築



連携、可視化、情報共有、情報公開

内部質保証活動は誰に対する質保証なのか

